

参考様式第2号

伊勢市栗野町において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月1日

農林水産課

記

1. 会合の対象とした区域
伊勢市栗野町

2. 会合の結果を取りまとめた年月日
平成31年2月20日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	1 経営体
集落営農（任意組織）	0 経営体

・ 中心経営体はいるが十分ではない。

○ 農地の集積面積

19.17ha（区域内の農地面積63.6ha、集積率30.1%）

4. 今後の地域農業の在り方

当地区は小規模農家が多く、高齢化と後継者不在及び営農赤字などから農業を続ける人が急減しつつあります。

一方では、農地を借り受けて営農の拡大を試みる担い手もいますが、耕作しなくなる農地の発生を吸収していくだけの規模になるのは難しく、また、地区内から新しい担い手が育つのは望めない状況にあります。

このままでは、安定した受け手を確保しない限り遊休農地が増加し耕作放棄地発生につながる恐れがあることから地区内で話し合いを重ね、主として農業法人へ貸付する方向での合意を得たので、平成28年度から中間管理機構を通じて担い手への集積を進めています。

今後さらに農地集積・集約化を進めることでリタイアする農家の受け皿として、また、担い手には効率の良い営農ができるようにしていきたい。